MUNISHP SPORT



TEAM MONSTER SPORT レース トゥ ザ スカイ 2015 参戦

TEAM MONSTER SPORT では、2015年4月にニュージーランドにおいて8年ぶりに復活 を遂げるヒルクライムイベント「レース トゥ ザ スカイ 2015」に参戦します。

「レース トゥ ザ スカイ」は、パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムの姉妹イベント として 1998 年から 2007 年まで開催され、"モンスター"田嶋伸博が、10 大会中 9 大会に参戦し 8勝(総合優勝)と圧倒的な強さで君臨してきました。2015年4月17-19日に開催される新生レ ーストゥザスカイでは、過去の実績から招待を受けての参加となります。もちろん、レジェンド として大きな存在感で記念すべき大会を沸かせることをお約束します。

参戦車両は、話題のスポーツカー TOYOTA 86 をベースに開発された「スーパー 86」です。 670ps の V6 ツインターボエンジンをミッドシップマウントしたスーパーマシンをヒルクライム用に さらに進化させ、大型ウイング装着、吸気系レイアウト見直し等の改良を行いました。

「スーパー 86」は、2013年のデビュー以来、全日本ダートトライアル選手権に2回参戦し優勝 した他、大勢の観客の前を走るデモンストレーションランに積極的に取り組んでおり、東京・お台 場 メガウェブや富士スピードウェイで行われたイベント、また、4万 8000 人の観客を集めた新 城ラリー2014 でもデモランを実施しました。

さらには、東日本大震災被災地を元気にするために、福島で開催されたダートトライアル東北 選手権にサプライズ参戦するなど、多くの人々にモータースポーツを通じてクルマの楽しさを伝 え、元気付ける活動を行っています。2015年は、この活動をさらにスケールアップし、世界へ"モ ンスター田嶋"の想いを伝えて行きます。



































MUNISHP SPORT



【出場競技】

大会名:レース トゥ ザ スカイ 2015

開催地:ニュージーランド・オタゴ地方・ワイオラウ スノーファーム (Waiorau Snow Farm)

開催日:2015年4月17日~19日

出場クラス:アンリミテッド(改造無制限)

出場車両 :モンスタースポーツ スーパー86

ドライバー:田嶋 伸博

【概要】

レース トゥ ザ スカイ とは

レース トゥ ザ スカイは、ニュージーランド南島クイーンズタウン近郊のリゾート、カードローナ・バレーに 位置するワイオラウ・スノー・ファームを舞台に開催されます。

初開催は 1998 年と歴史は浅いものの、パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム(アメリカ)に並 ぶスケールのヒルクライムイベントとして人気を誇り、2007年を最後に休止となった後も開催を望む声が 多く上がりました。

その、人気イベントが、コース全長 14.5km、コーナー数 135、標高差 1050m の過酷なグラベルコースは そのままに、2015年に復活を遂げます。

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム(米)が、全舗装路となった今、グラベルコースで行われ るヒルクライムとしては世界最長のイベントです。ドライバーのテクニックが物を言うグラベルコースで土 煙を上げてドリフトする大迫力の走りを、多くの観客が目撃することになるでしょう。

すでに、コースレコードホルダーであるモンスター田嶋に挑戦すべく、多くのエントラントが名乗りを上げ ています。モンスター田嶋と弊社ではディフェンディングチャンピオンとしてこの挑戦に受けて立ち、総合 優勝ならびにさらなるコースレコード更新を狙います。

■レース トゥ ザ スカイ 公式 WEB サイト

http://www.highlands.co.nz/events/highlands-race-to-the-sky-2015/





































【レース車両】

2015 モンスタースポーツ スーパー86 ヒルクライムスペシャル

メーカー	開発・製作	タジマモーターコーポレーション
ボディ	シャシー	スチール スペースフレーム
	パネル	カーボンファイバーコンポジット
エンジン	形式	Monster Original V6 ツインターボ
		水冷 V型6気筒 4バルブ DOHCドライサンプ
	排気量	2977cc (90.0 × 78.0mm)
	最高出力/トルク	670ps/7800rpm 82.5kg-m/5000rpm
パワートレーン	トランスミッション	6速 シーケンシャル
	デファレンシャル	フロント/リヤ:油圧制御 センター:機械式マルチプレート
サスペンション	タイプ	フロント/リヤ: ダブルウイッシュボーン
タイヤ&ホイール	タイヤ	フロント/リヤ: 310/800-18 Giti Tire
	ホイール	フロント/リヤ: 18x11J RAYS
ディメンション	全長・全幅・全高	全長 5200 x 全幅 1960 x 全高 1580 mm
		*前後ウイング含む
	ホイールベース	2820mm
	車両重量	1080kg(ドライバー、燃料含まず)



































MUNSEP SPORT

【ドライバー】



田嶋 伸博

(たじま のぶひろ)

1950年6月28日生 石川県出身/東京都在住

株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長

株式会社アイアールディー 代表取締役会長 株式会社 SIM-Drive 代表取締役社長 電気自動車普及協会(APEV) 代表理事 磐田新産業創出協議会 理事 JEVRA 日本電気自動車レース協会 理事 JAF 公認 チームモンスター 会長 東京大学 非常勤講師

ヒルクライム戦績

レース トゥ ザ スカイ(2003-2007) クイーンズタウン ゴールドラッシュ(1998-2002)

(ニュージーランド オタゴ地方)

■1998 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 13 秒 60 ■1999 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 33 秒 31 ■2000 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 40 秒 91 ■2001年 アンリミテッド Div. 総合3位8分56秒

■2002年 不参加

■2003 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 10 秒 02 ■2004 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 17 秒 84 ■2005 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 10 秒 84 ■2006 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 1 秒 17

コースレコード

■2007 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 8 分 3 秒 93

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム (アメリカ コロラド州)

■1988 年 ショールームストック Div. クラス 3 位 ---

■1989 年 アンリミテッド Div. DNF ■1990 年 オープンラリーDiv. DNS

■1991 年 PP オープン Div. 3 位 12 分 34 秒 51 ■1992 年 アンリミテッド Div. クラス優勝 12 分 51 秒 63

■1993 年 アンリミテッド Div. クラス優勝/総合 2 位 10 分 44 秒 22 ■1994 年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合5位 10分51秒15

■1995 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分53秒00

※短縮コース 日本人初優勝 ■1996 年 アンリミテッド Div. クラス 2 位/総合 2 位 10 分 21 秒 88

■1997 年 アンリミテッド Div. DNF

■1998 年 アンリミテッド Div. クラス 2 位/総合 2 位 10 分 32 秒 57 ■1999 年 アンリミテッド Div. クラス 2 位/総合 2 位 10 分 37 秒 35

■2000 年 PP オープン Div. DNF ■2001 年 アンリミテッド Div. DNF

■2006 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分38秒

※天候不順のためコース短縮

■2007 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10 分 01 秒 408

世界新記録樹立

■2008 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10 分 18 秒 250 ■2009 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10 分 15 秒 368 ■2010 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10 分 11 秒 490 ■2011 年 アンリミテッド Div. 総合優勝 9分51秒278

世界新記録樹立

■2012 年 エレクトリック Div. 予選:クラス 1 位 / 決勝:リタイヤ ■2013 年 エレクトリック Div. クラス優勝/総合 5 位 9 分 46 秒 530

クラスレコード更新

■2014 年 エレクトリック Div. クラス 3 位/総合 4 位 9 分 43 秒 900



































お問い合わせ先

株式会社タジマモーターコーポレーション 広報グループ 石倉 智之 〒438-0213 静岡県磐田市竜洋稗原 665 TEL 0538-66-0020 FAX 0538-66-7583 E-mail pr@tajima-motor.com